

水俣病訴訟を支援

熊本
市 「告発する会」が発足

水俣病患者家庭互助会の自主交渉派は二十日、訴訟による解決を確認したが、この裁判をバックアップする「水俣病を告発する会」（仮称）が同日、熊本市で発足した。

この会は熊本市在住の教師、公務員、銀行員、ジャーナリストらが全く個人の資格で参加、患者の自主交渉を支持し、チツソに抗議しようというもので、同日県福祉会館で開かれた発足会には約三十

人が出席した。

話し合いの結果、今後毎月第二日曜に定例会を開き、独自に水俣病問題を取り上げ、患者の裁判闘争を支援していくことになった。

一方、県総評が結成を準備して

いる水俣病問題県民会議も五月十五日に結成の見込みで、裁判になった場合の弁護団も水俣病法律問題研究会（十二人）を中心に二十五日最終的な準備会を開き、五月十日に結成される。